

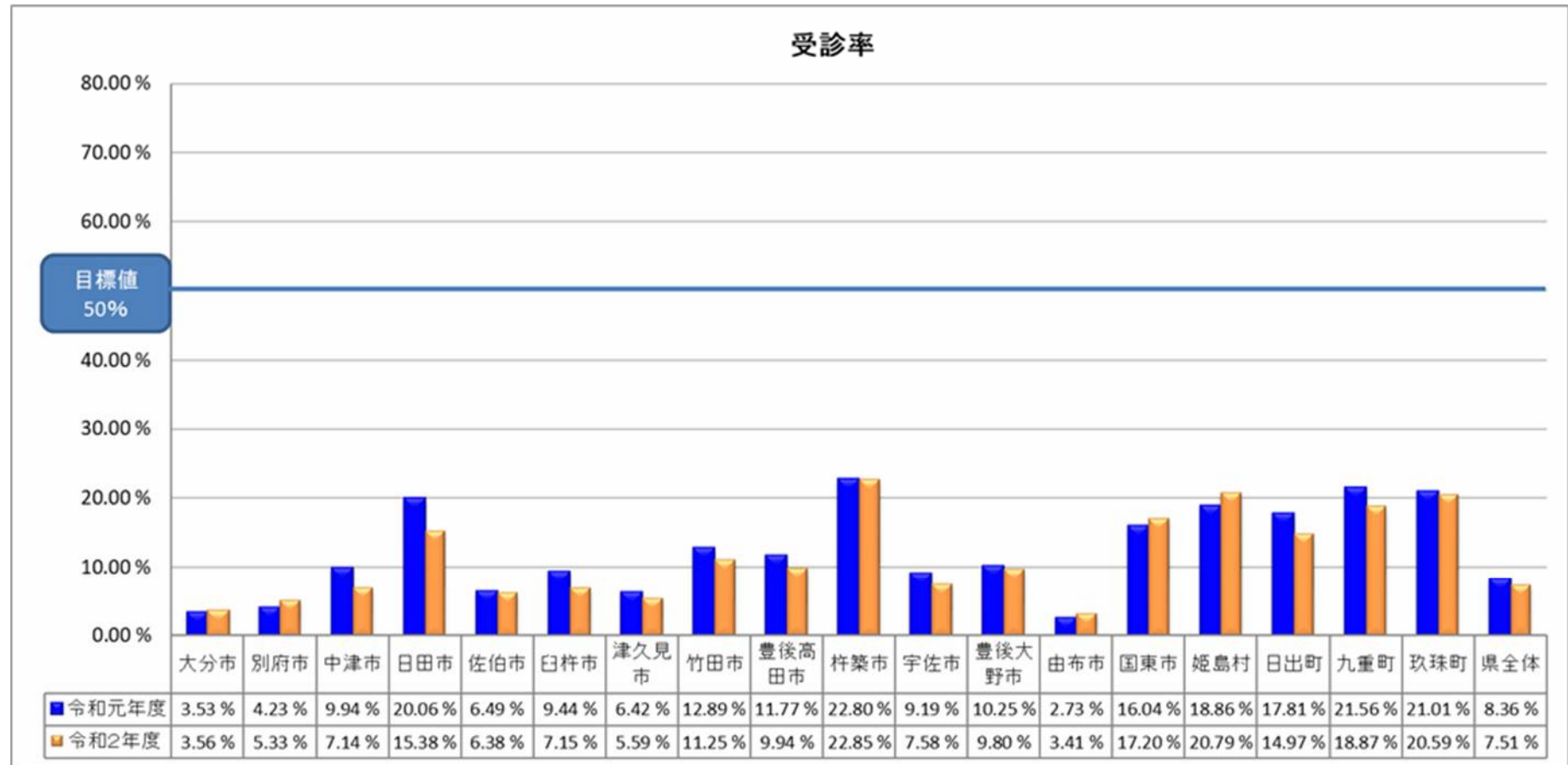
令和元年度、令和2年度 がん検診精度管理指標数値の集計結果

(1) 胃がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

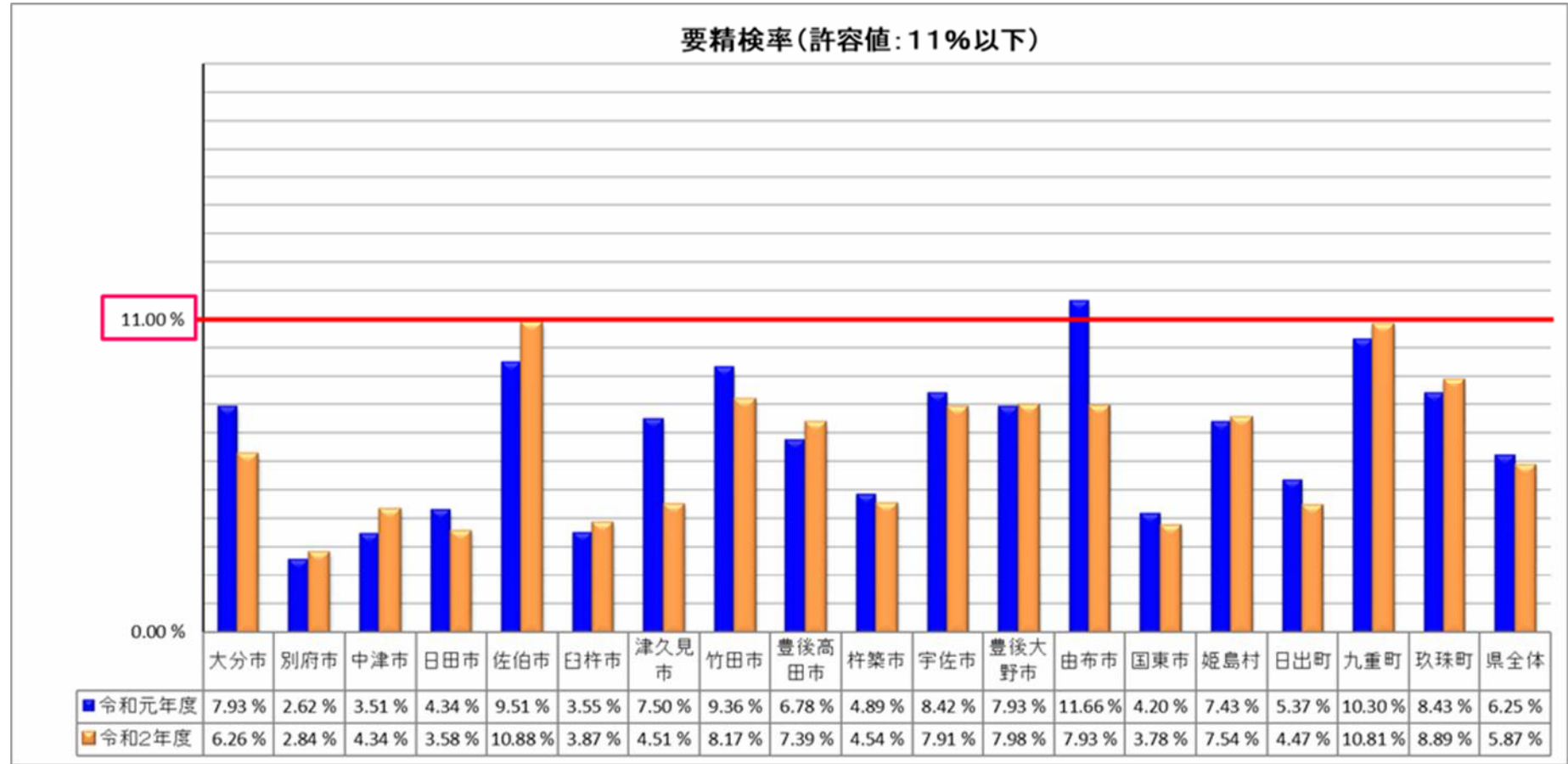
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



① -2 要精検率/市町村別集計/住民検診

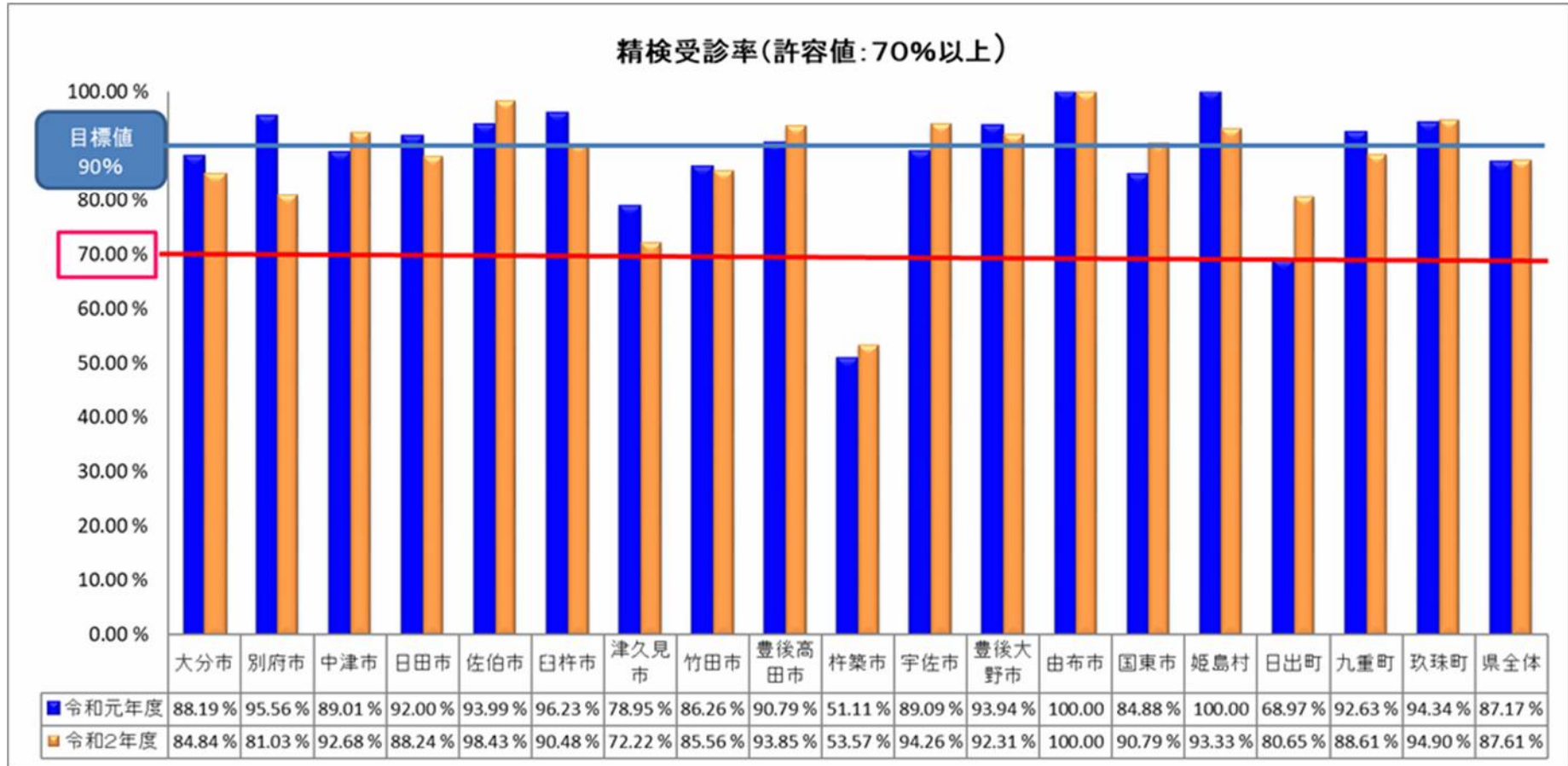
全市町村が許容値である11%以下となっている。県全体でR元:6.25%→R2:5.87%と微減。



① -3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

許容値である70%を17市町村で達成している。

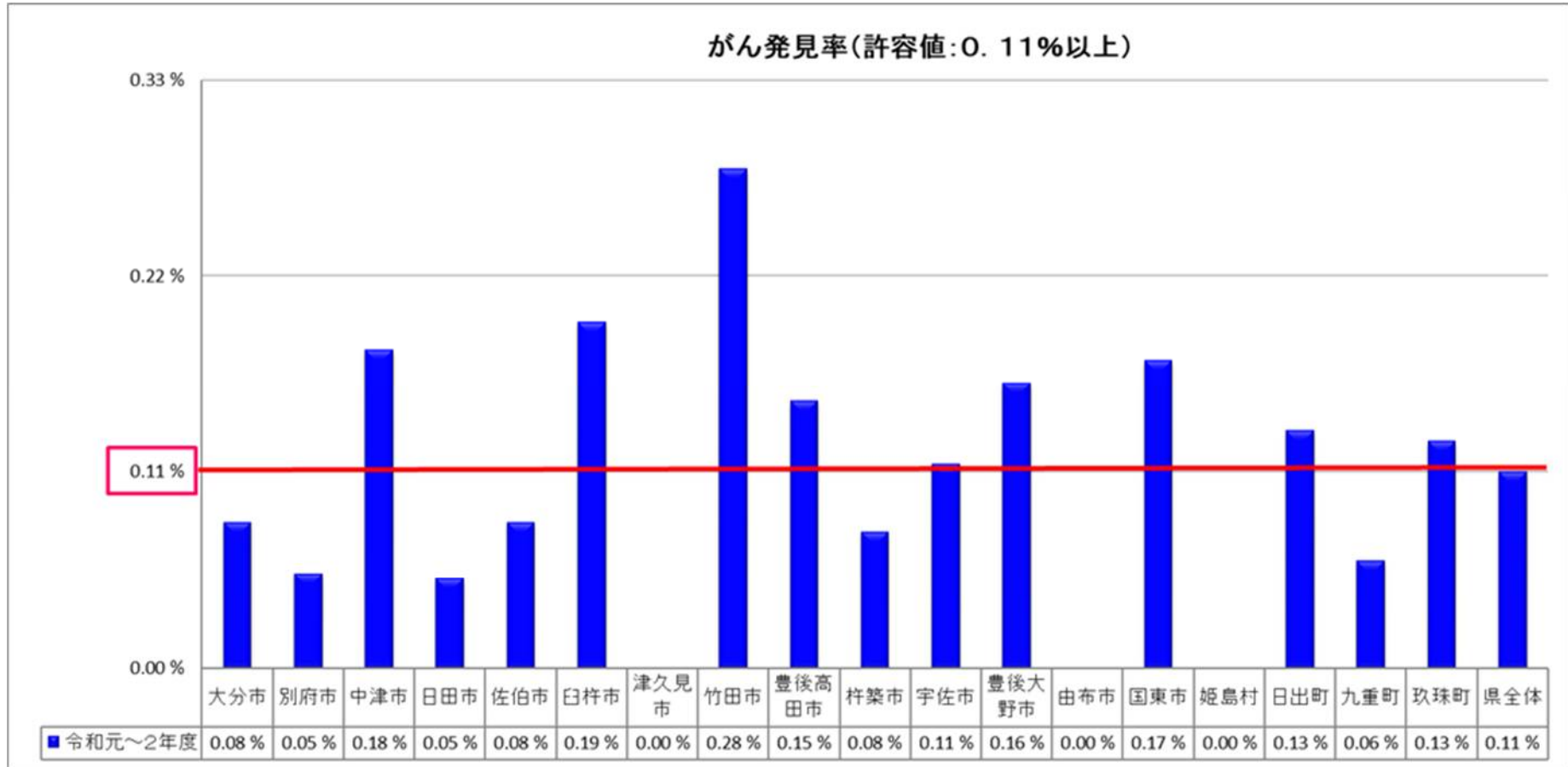
そのうち、10市町村で目標値である90%を達成しており、精検受診状況は良好。県全体ではR元:87.17%→R2:87.61%と微増。



① -4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

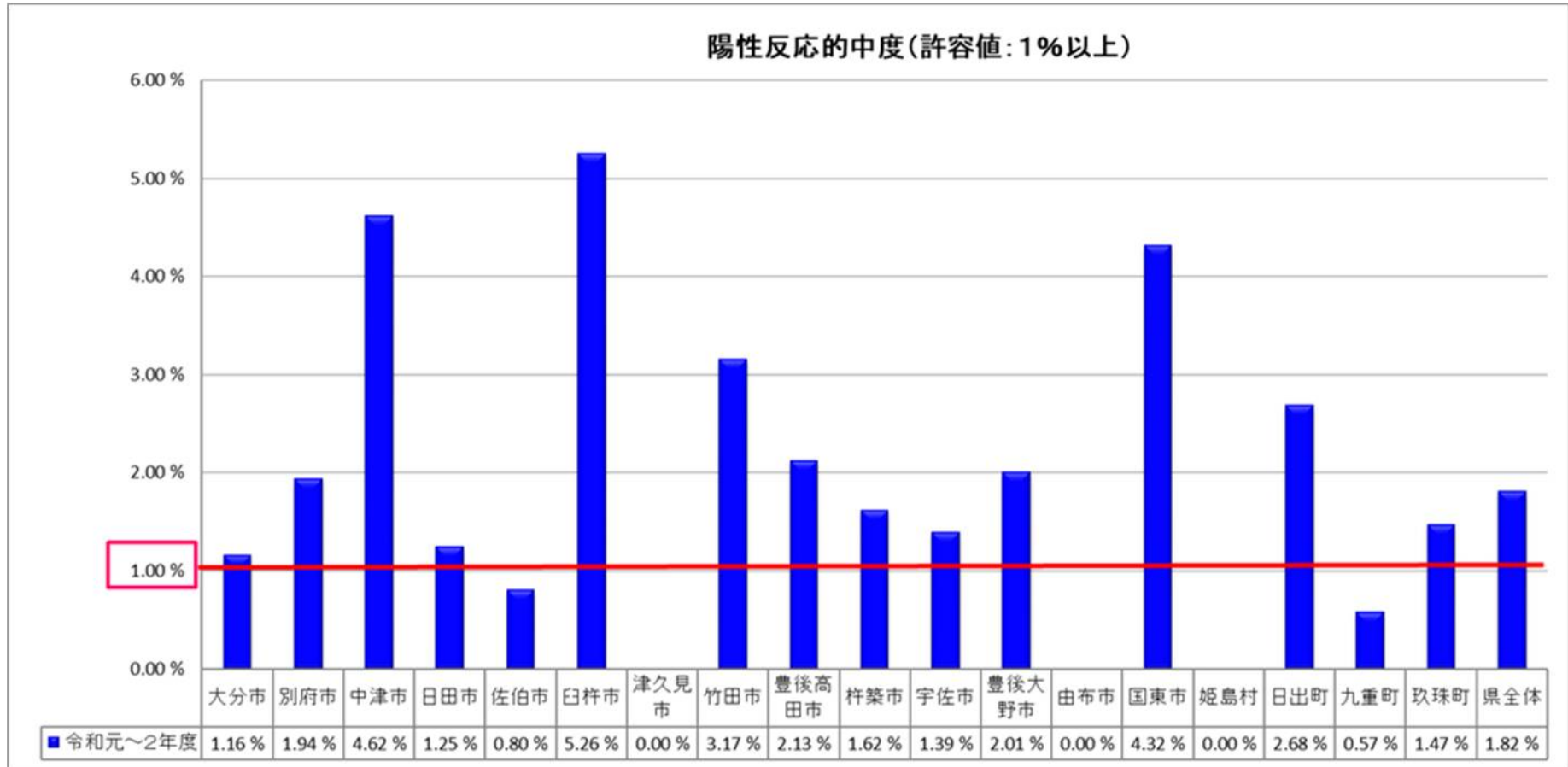
9市町が許容値である0.11%以上となっている。県全体では0.11%。



① -5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

13市町が許容値である1.0%以上となっている。県全体では1.82%であり、市町村のばらつきが大きい。

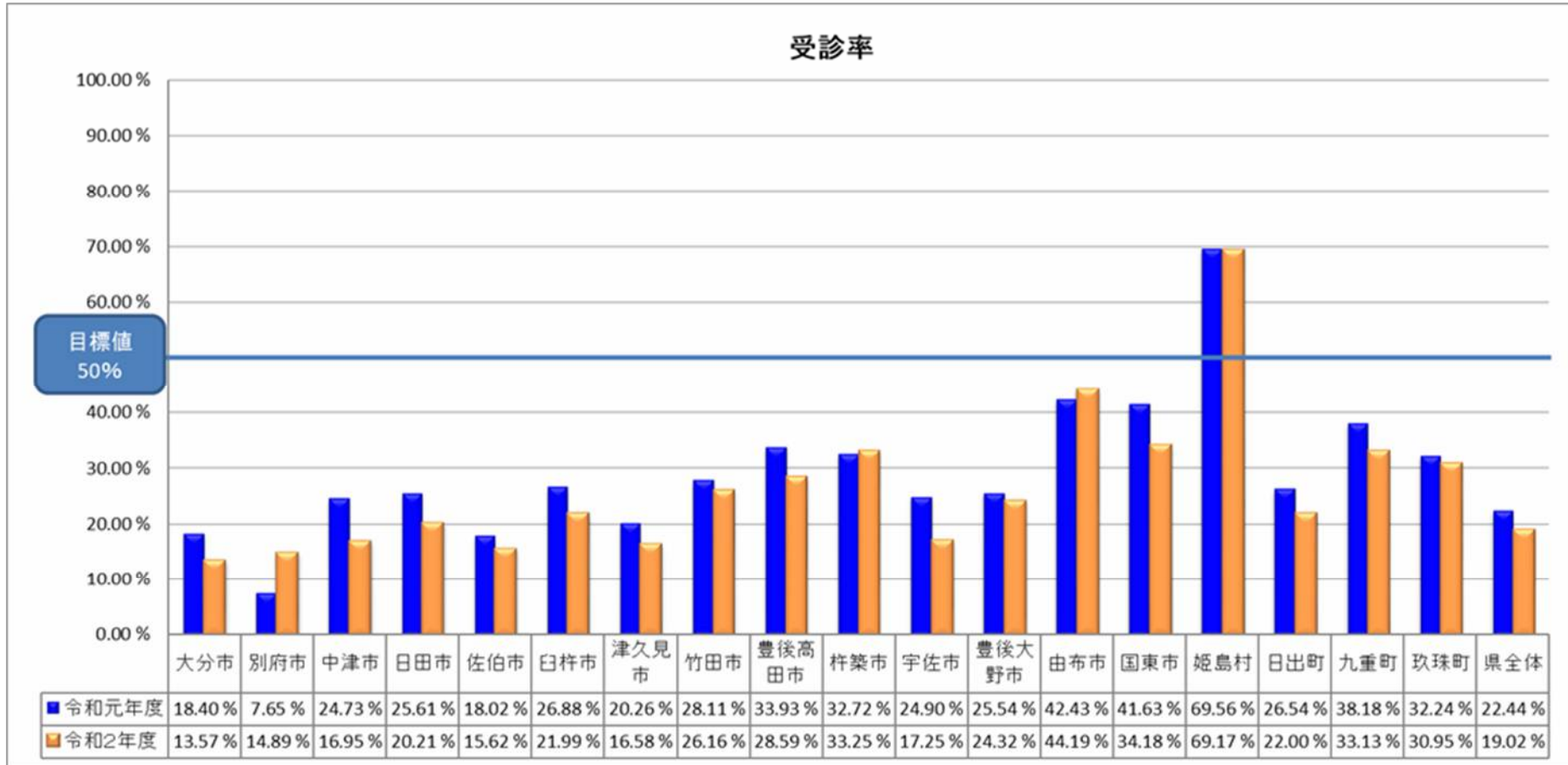


(2) 肺がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

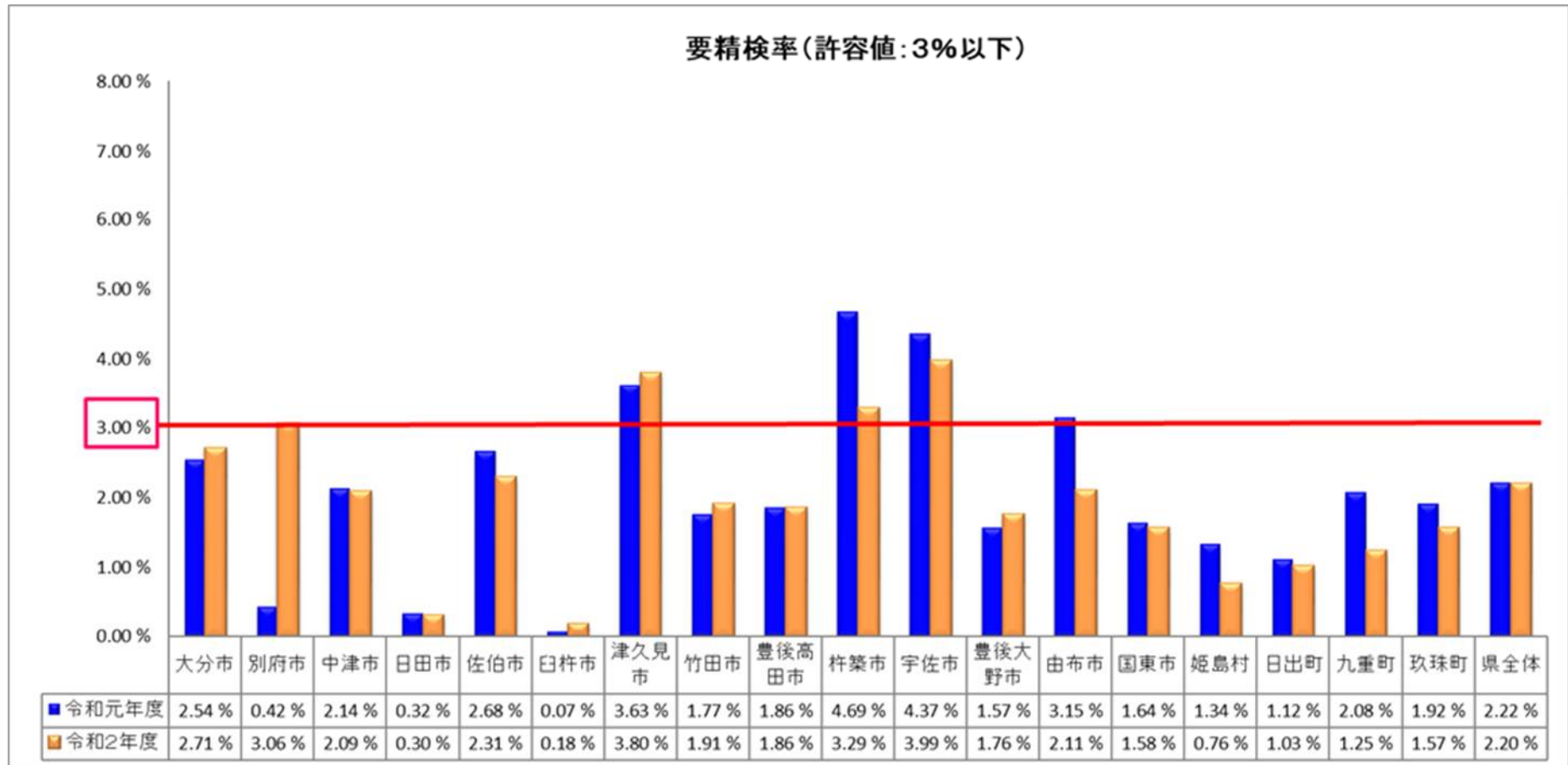
姫島村のみ、目標値である50%を達成している。県全体ではR元：22.44%→R2：19.02%と低下。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



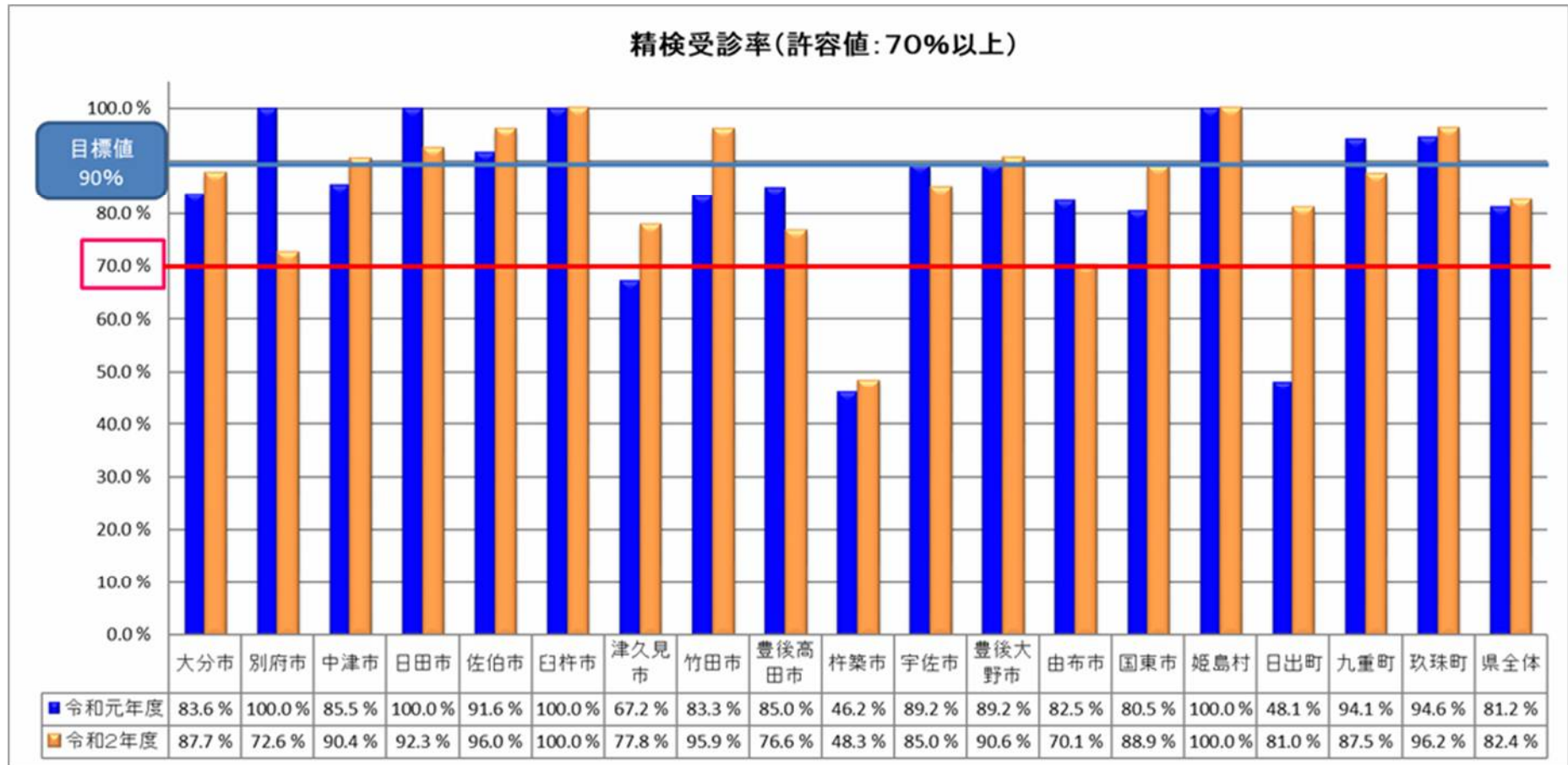
①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

14市町村が許容値である3.0%以下となっているものの、続けて3%より大きい値の市がある。



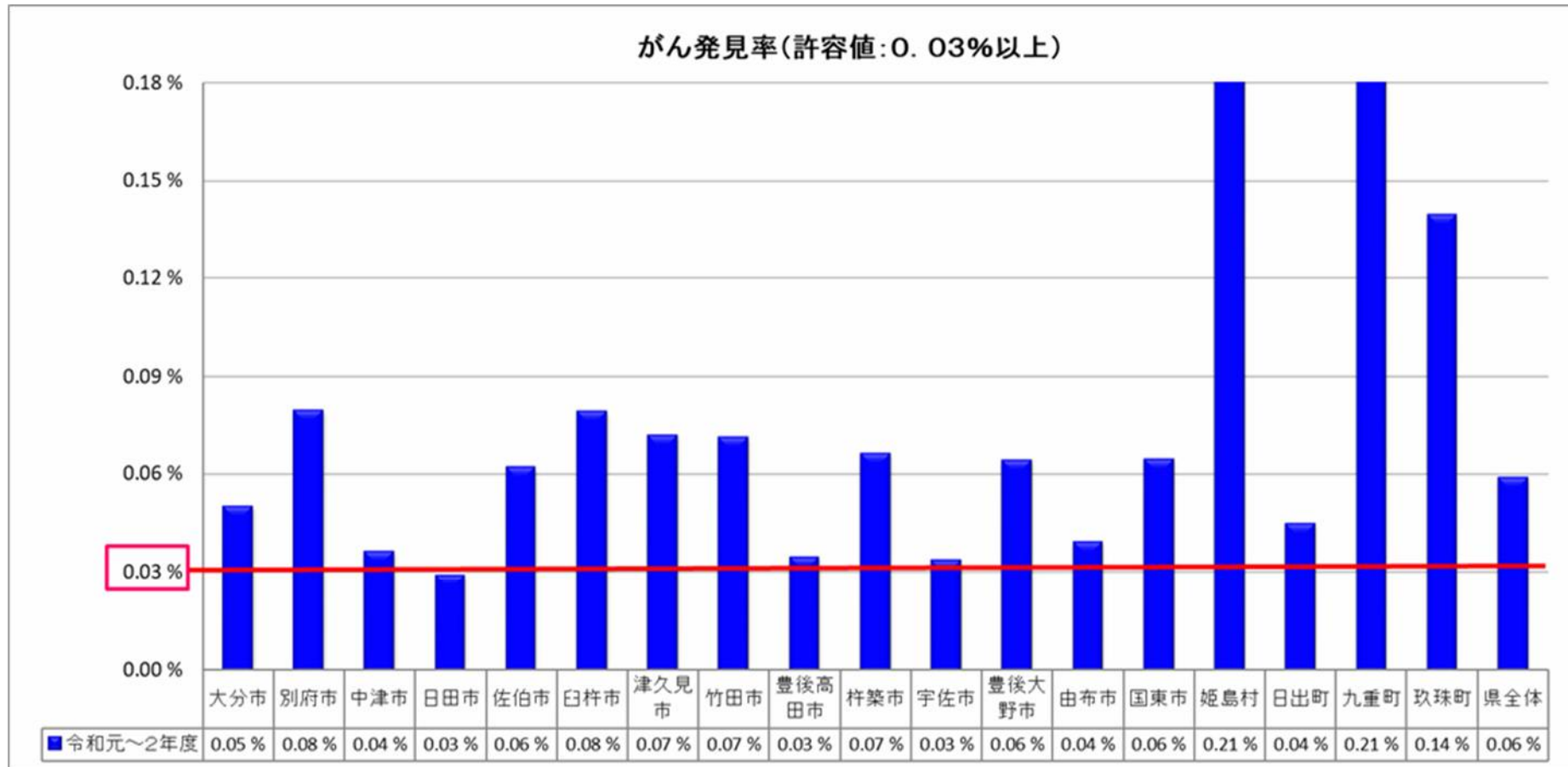
① -3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

許容値である70%を17市町村が達成している。そのうち、8市町村で目標値である90%を達成している。
 県全体でも82.4%を達成している。



① -4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

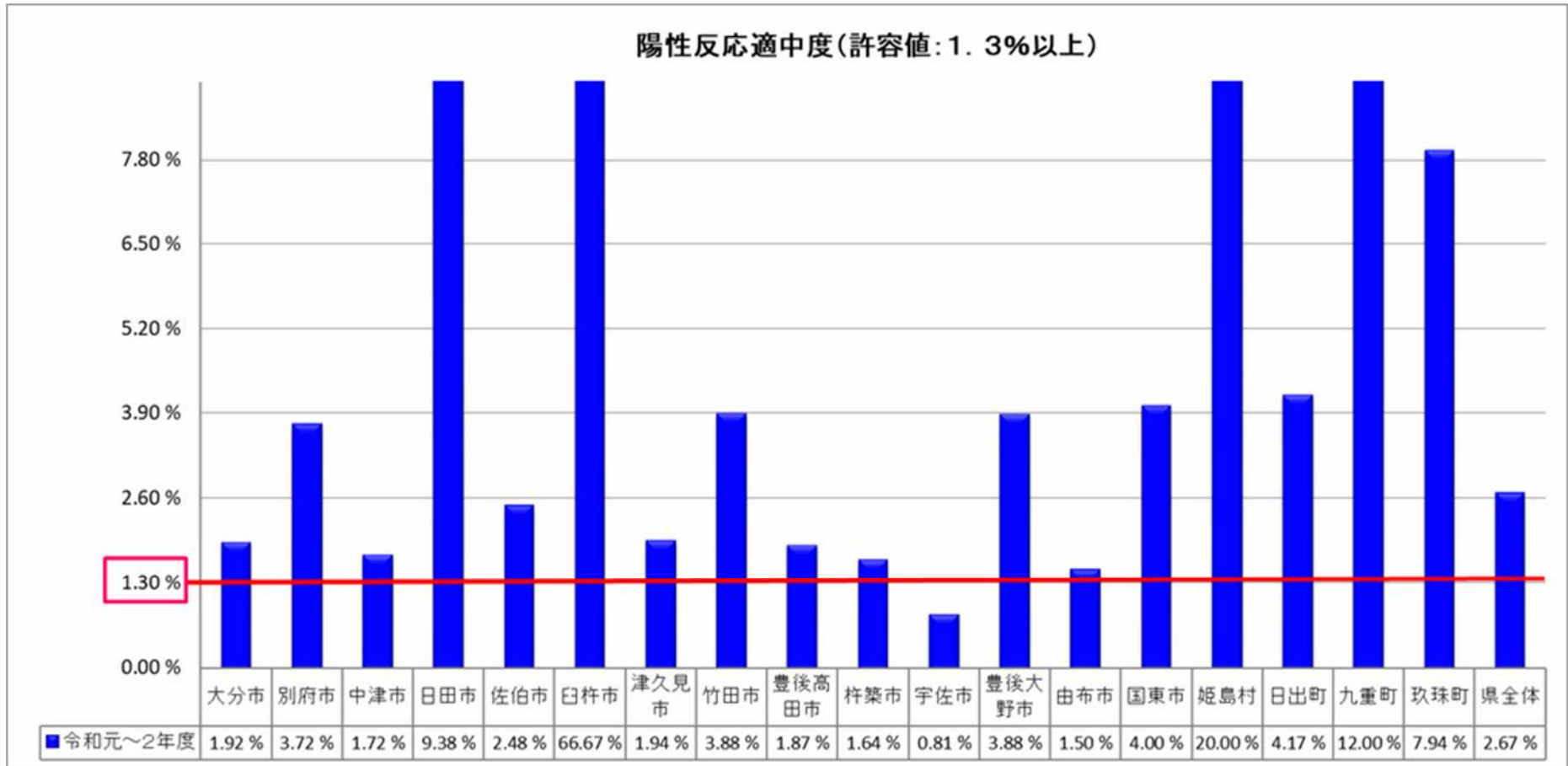
受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。
 全ての市町村で許容値である0.03%以上となっている。



① -5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

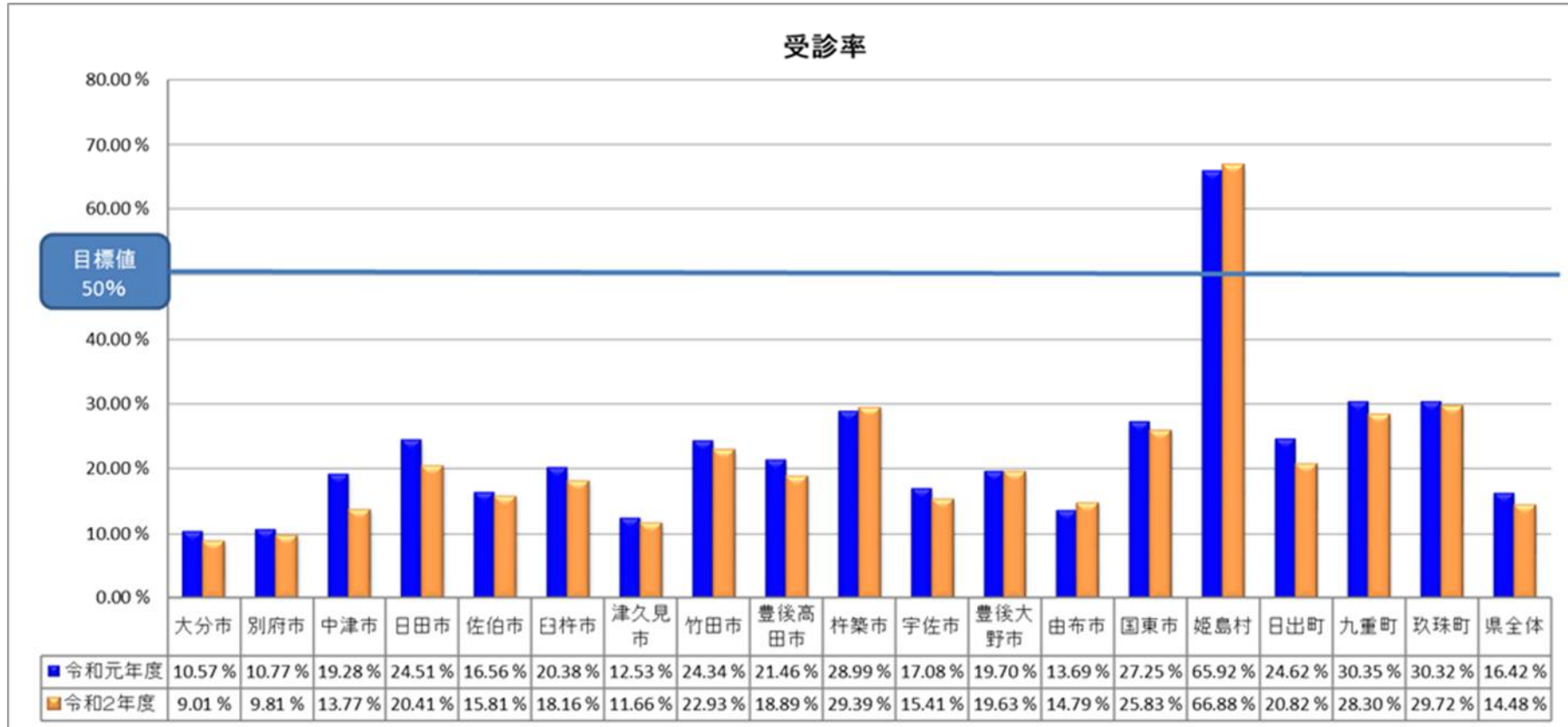
17市町村が許容値である1.3%以上となっている。



(3) 大腸がん検診

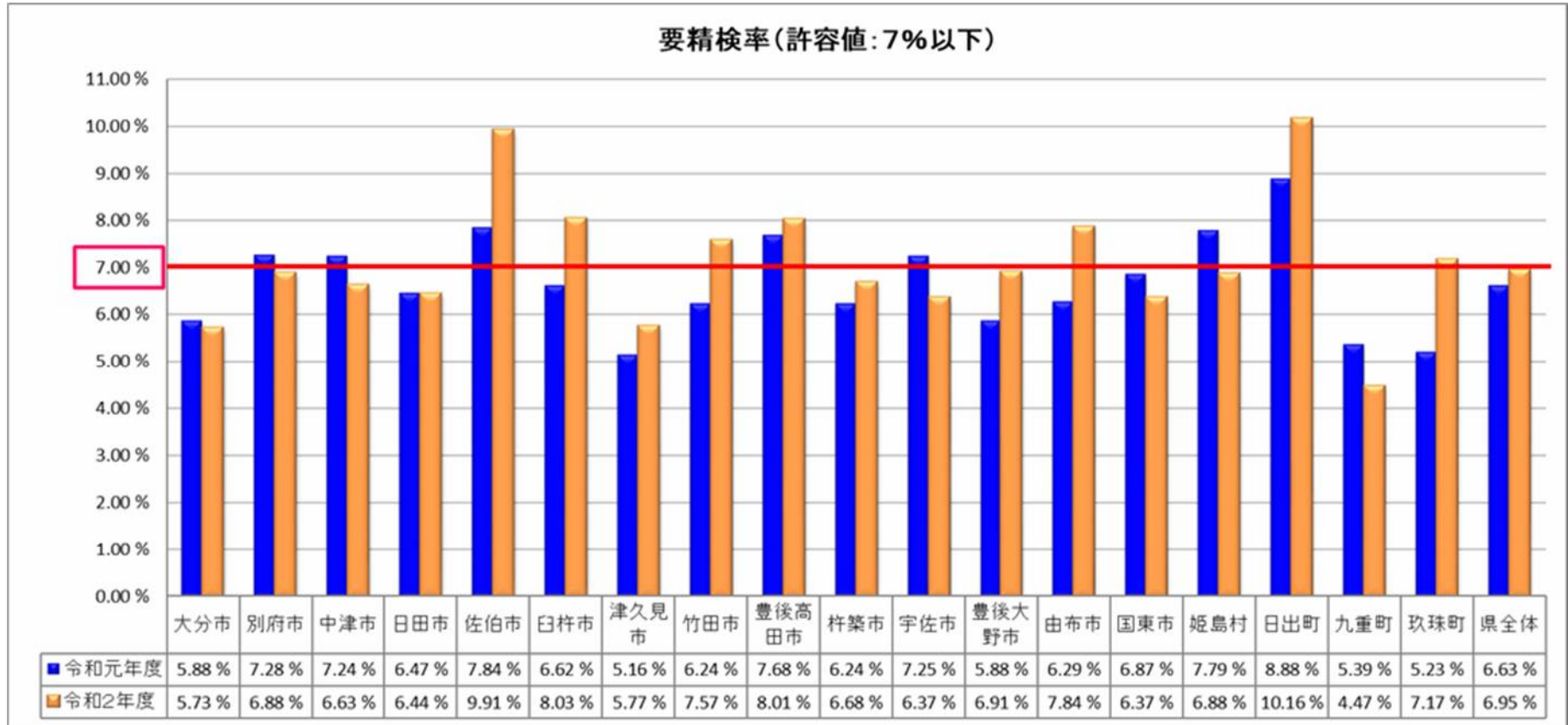
①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

姫島村のみ、目標値である50%を達成している。県全体ではR元:16.42%→R2:14.48%と約2%減。
 なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



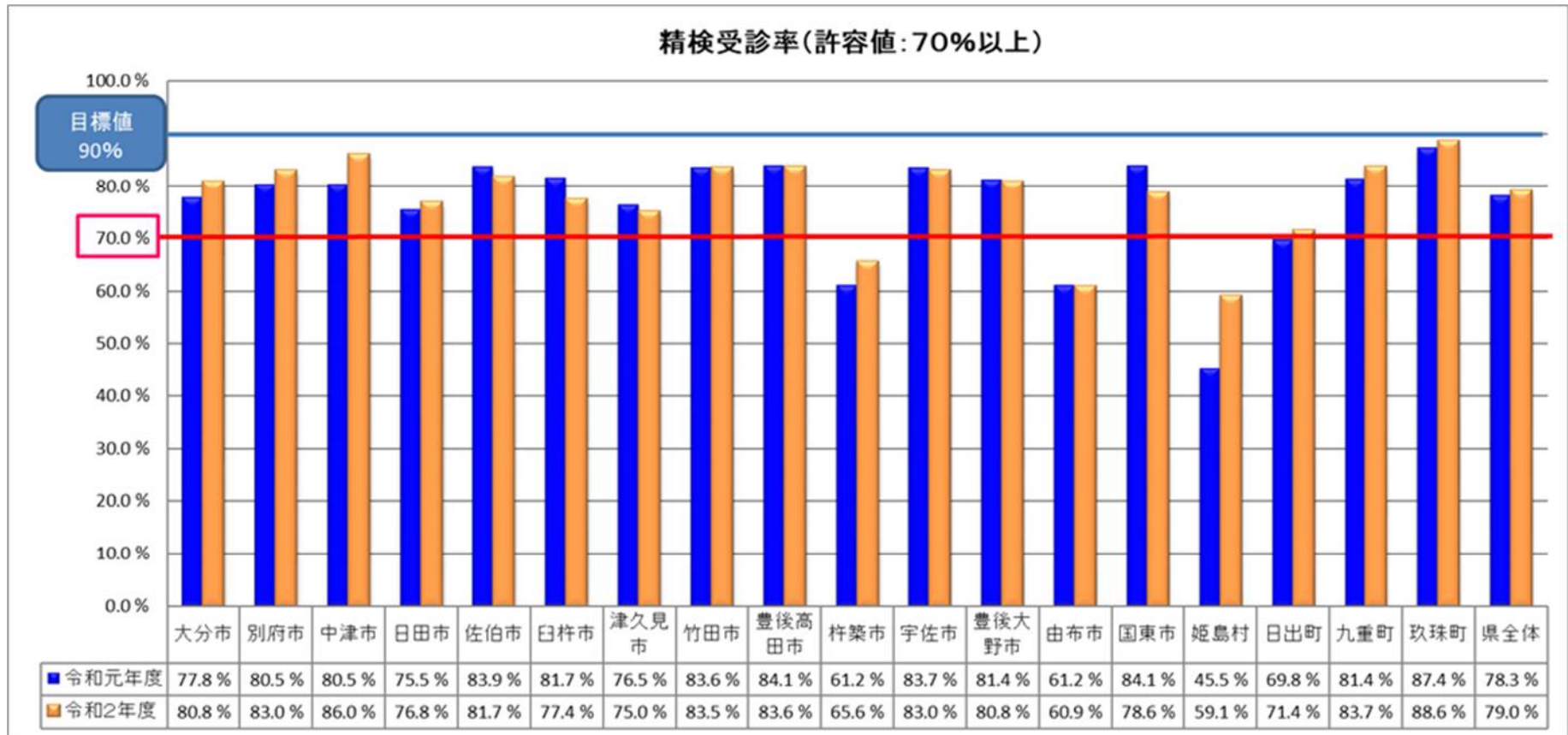
① -2 要精検率/市町村別集計/住民検診

11市町が許容値である7.0%以下となっている。県全体ではR元:6.63%→R2:6.95%と微増しているが許容値7.00%には達していない。



① -3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

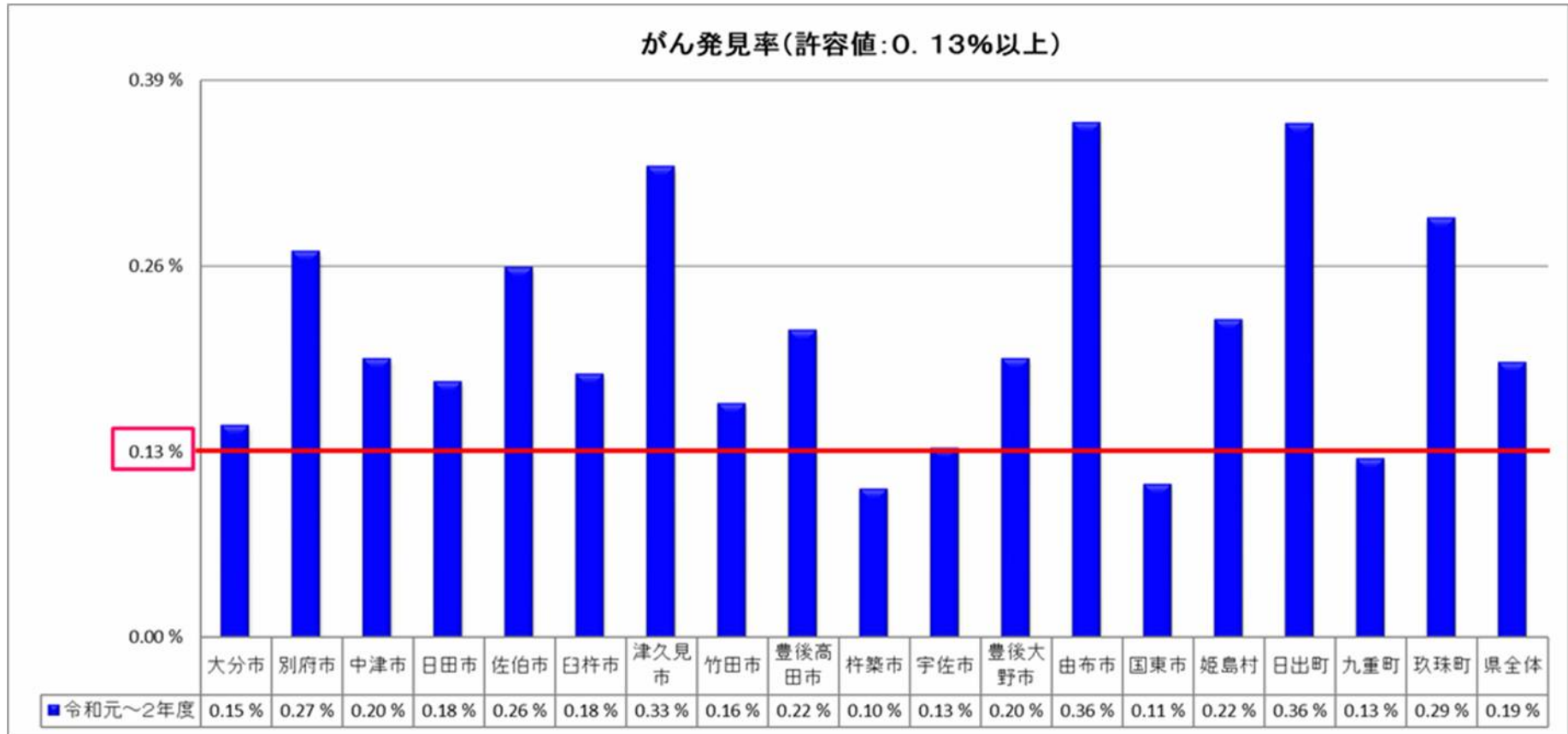
15市町が許容値である70%を達成している。県全体でも79.0%と許容値以上となっている。



① -4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

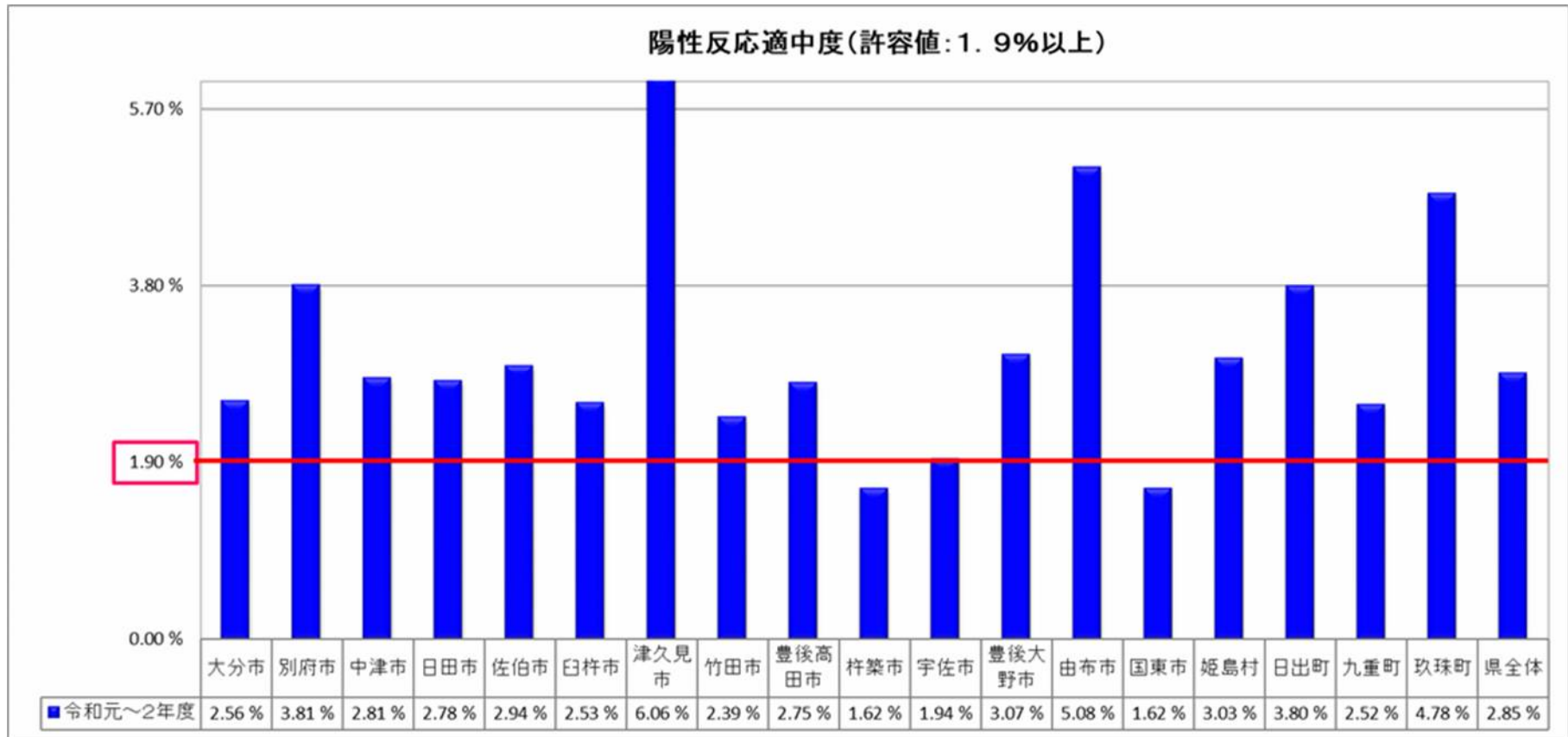
15市町村が許容値である0.13%以上となっている。



① -5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

16市町村が許容値である1.9%以上となっている。

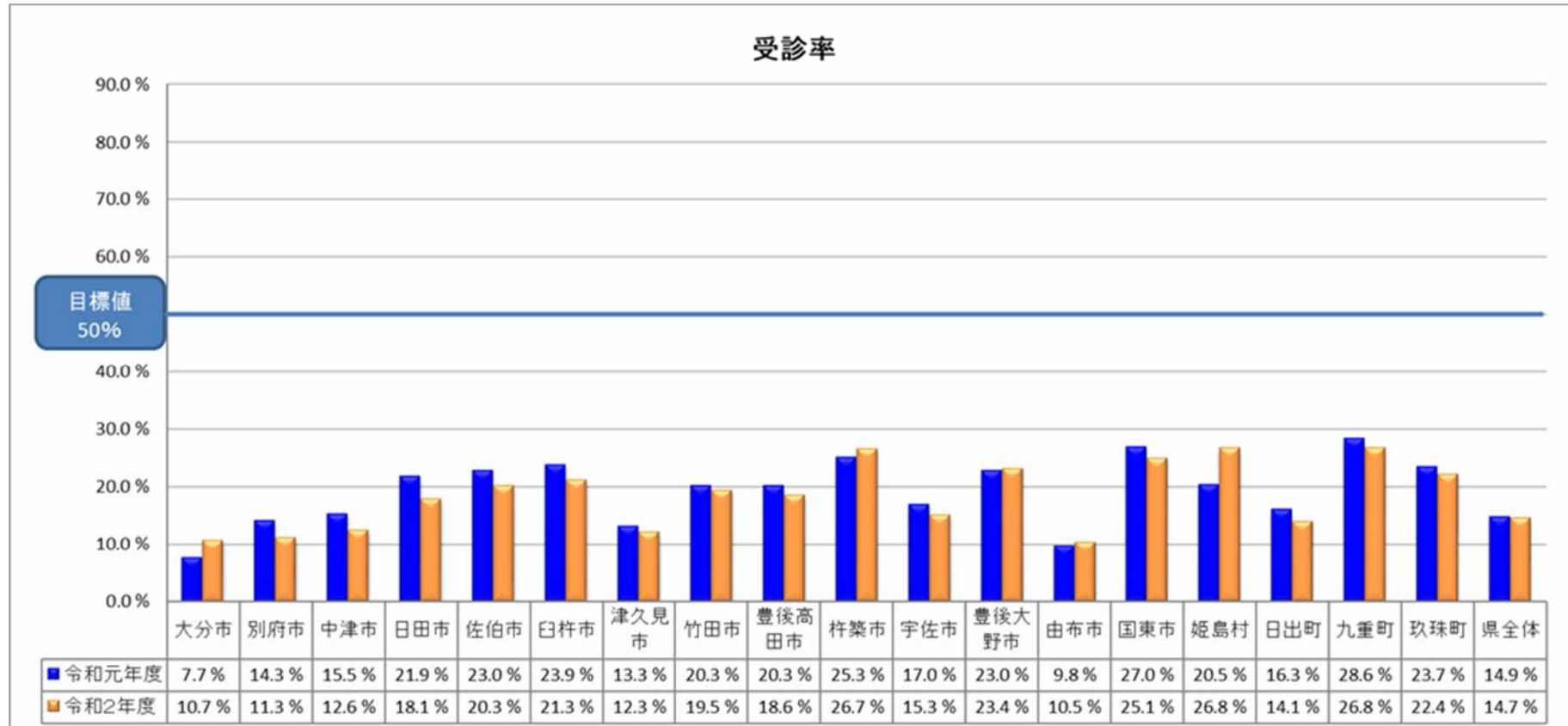


(4) 子宮頸がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

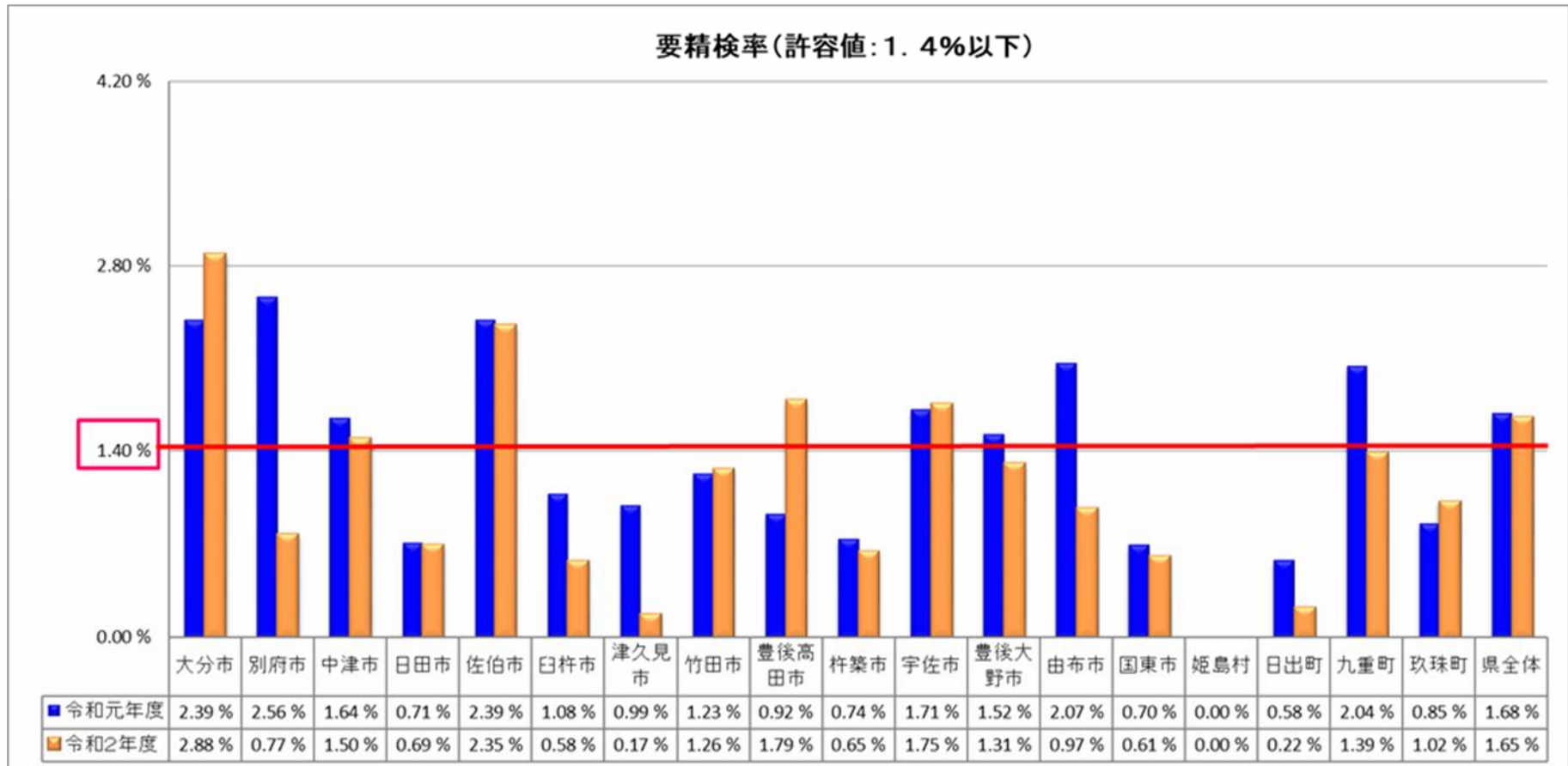
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



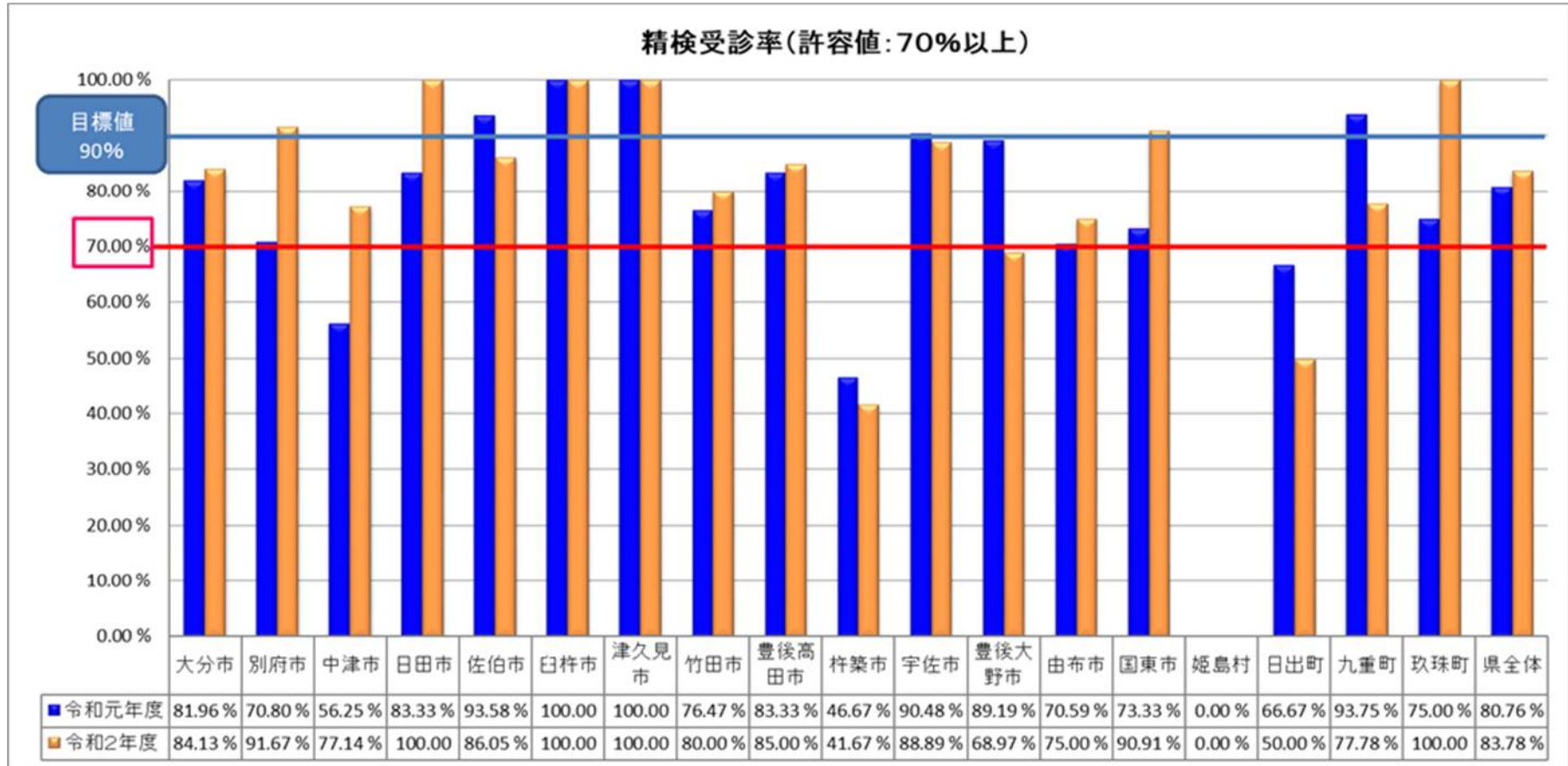
① -2 要精検率/市町村別集計/住民検診

13市町村が許容値である1.4%以下となっている。市町村間のばらつきが大きい。



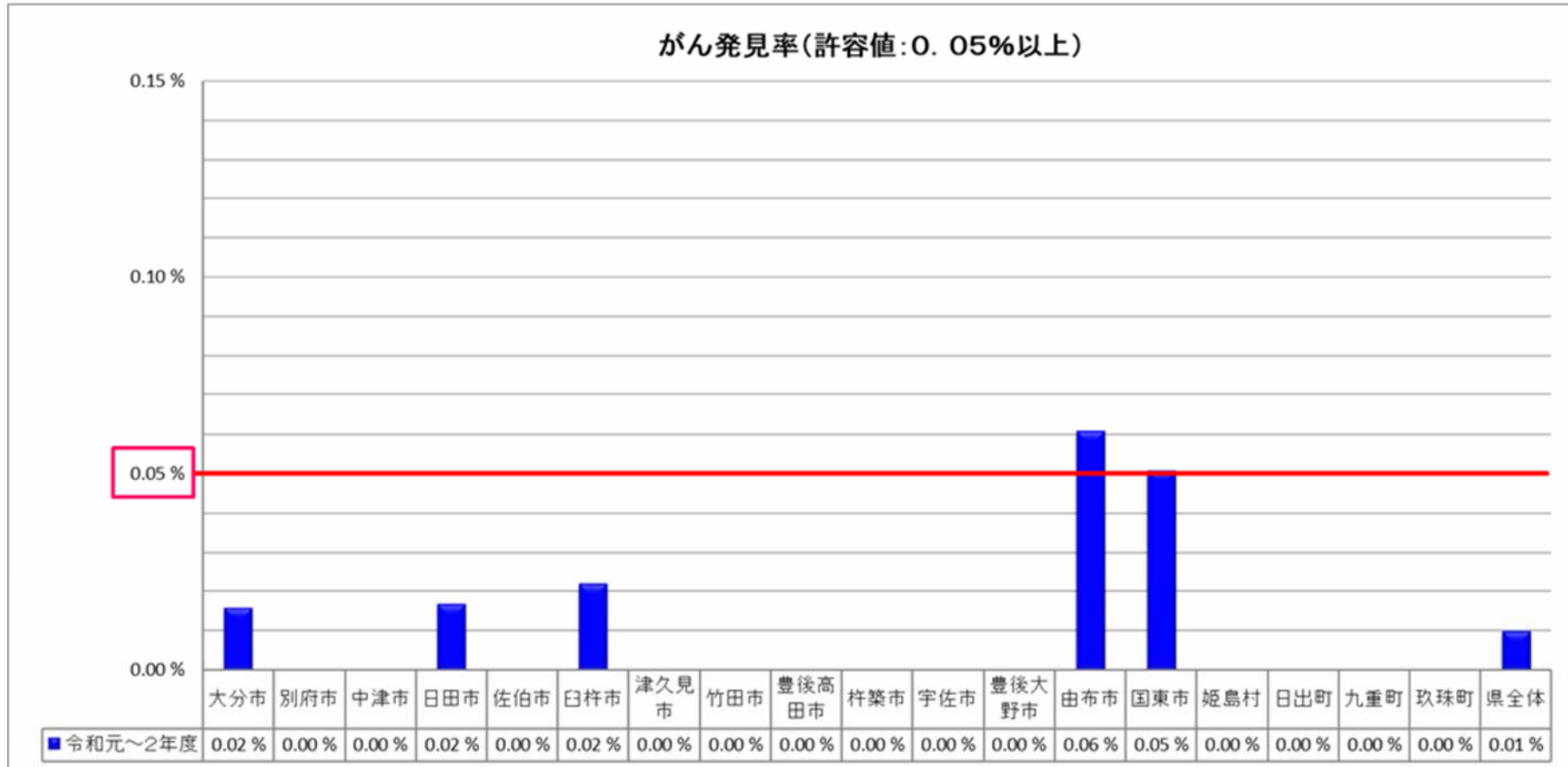
① -3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

許容値である70%を14市町で達成している。そのうち、6市町で目標値である90%を達成している。
 県全体でも83.78%と許容値以上となっている。



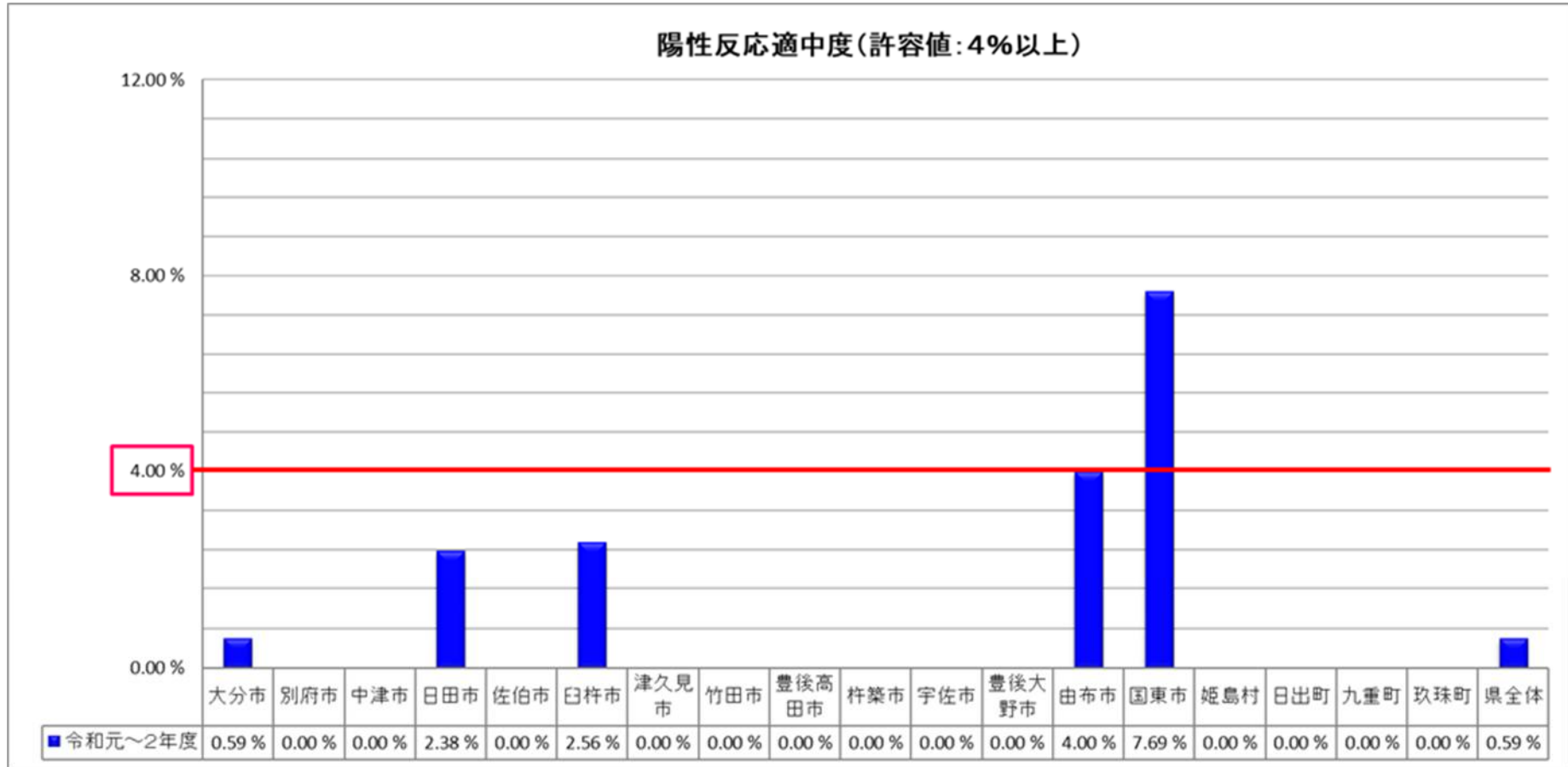
① -4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。
許容値である0.05%以上となっているのは、由布市と国東市のみ。



① -5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。
許容値である4.0%以上となっているのは由布市と国東市の2市のみ。

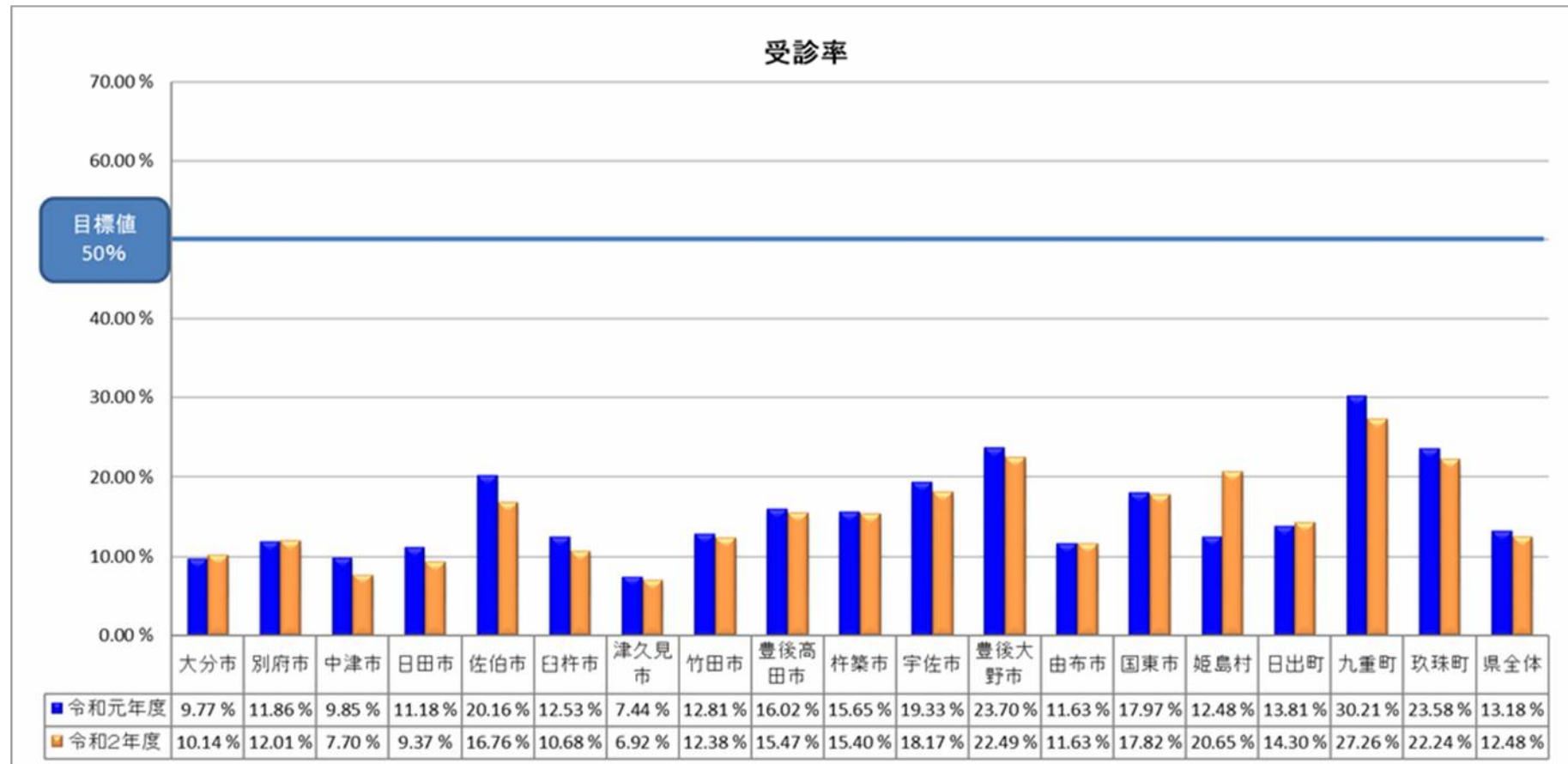


(5) 乳がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

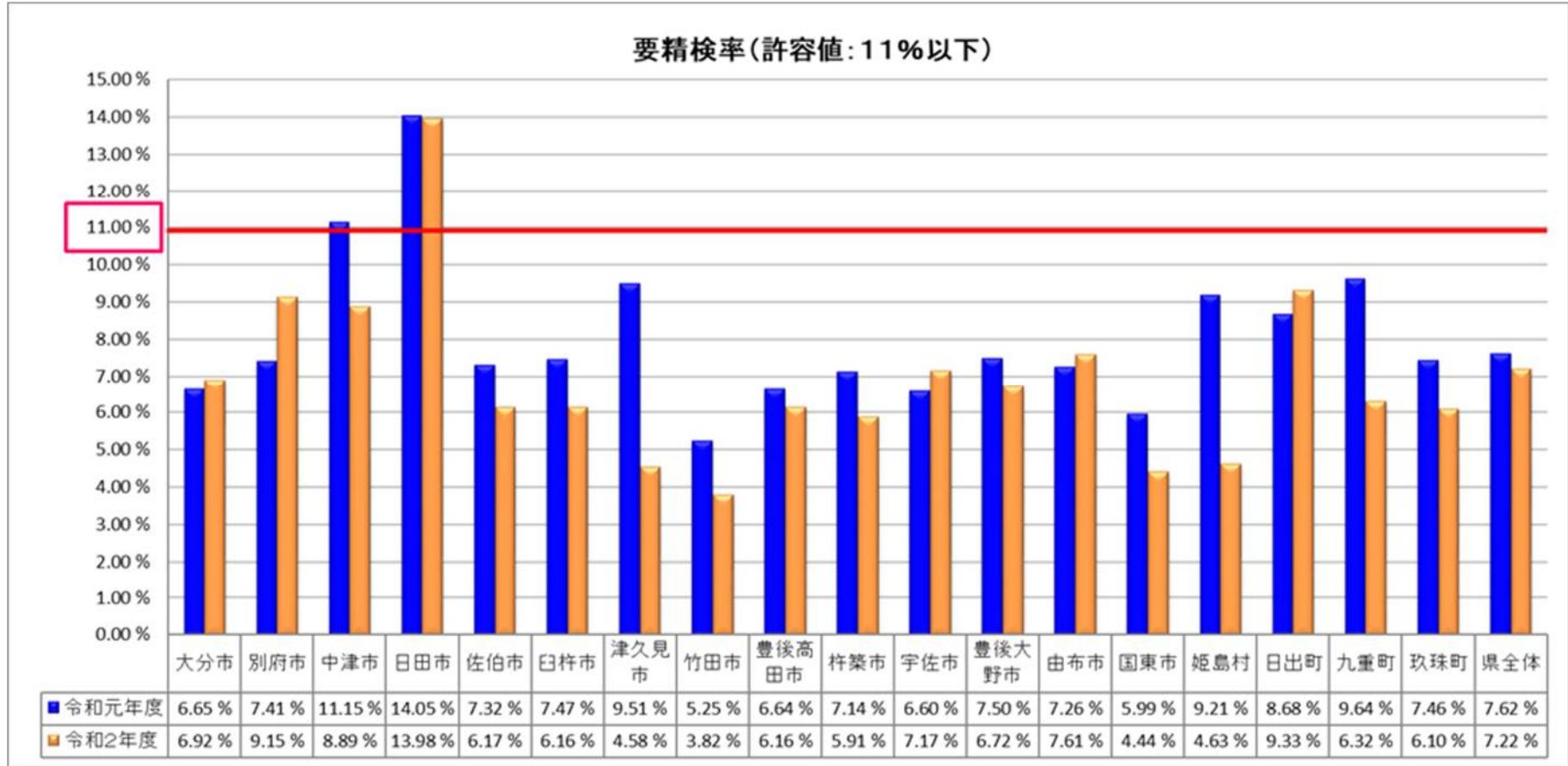
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



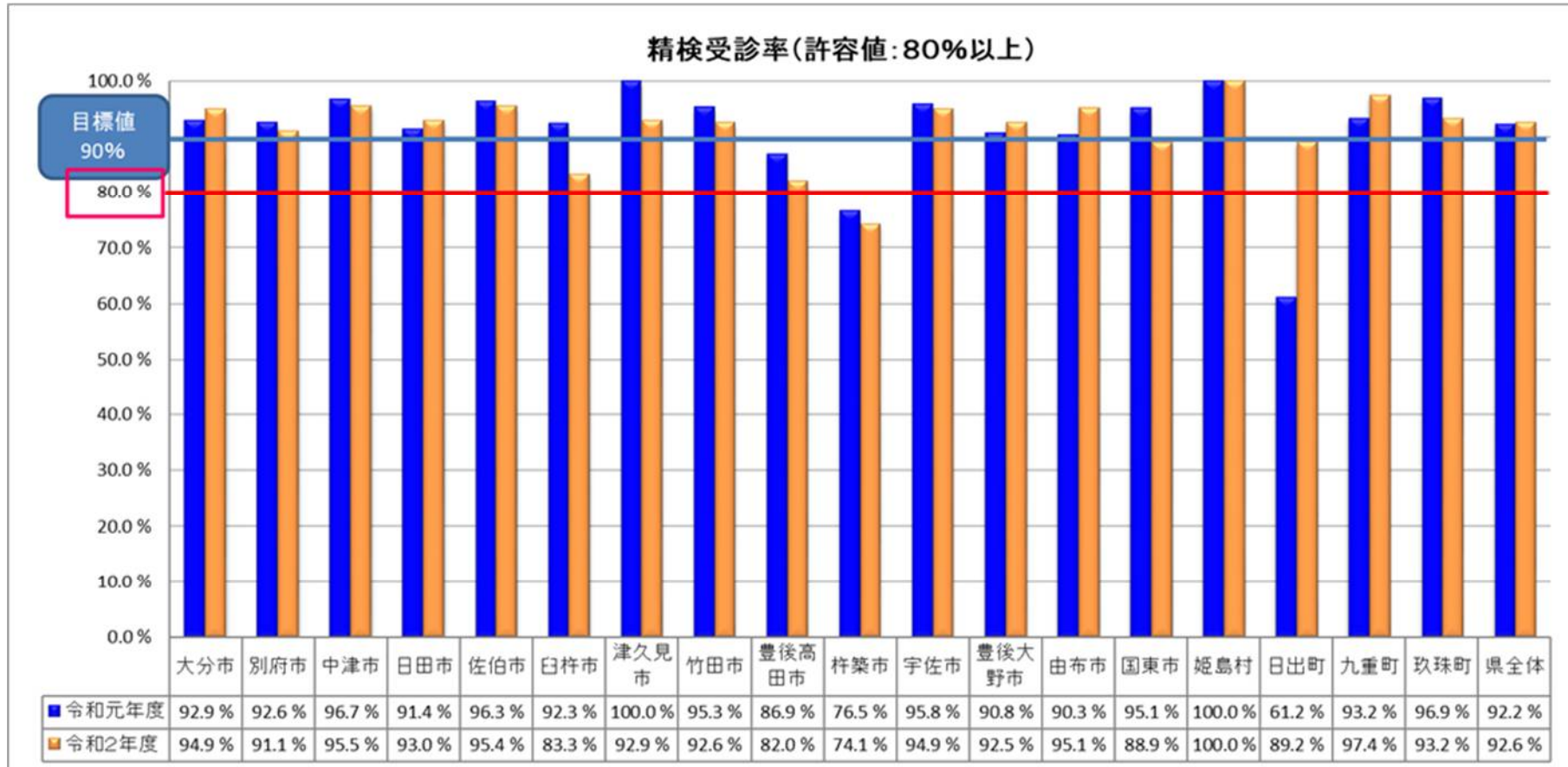
① -2 要精検率/市町村別集計/住民検診

17市町村が許容値である11%以下となっている。県全体では7.22%。



① -3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

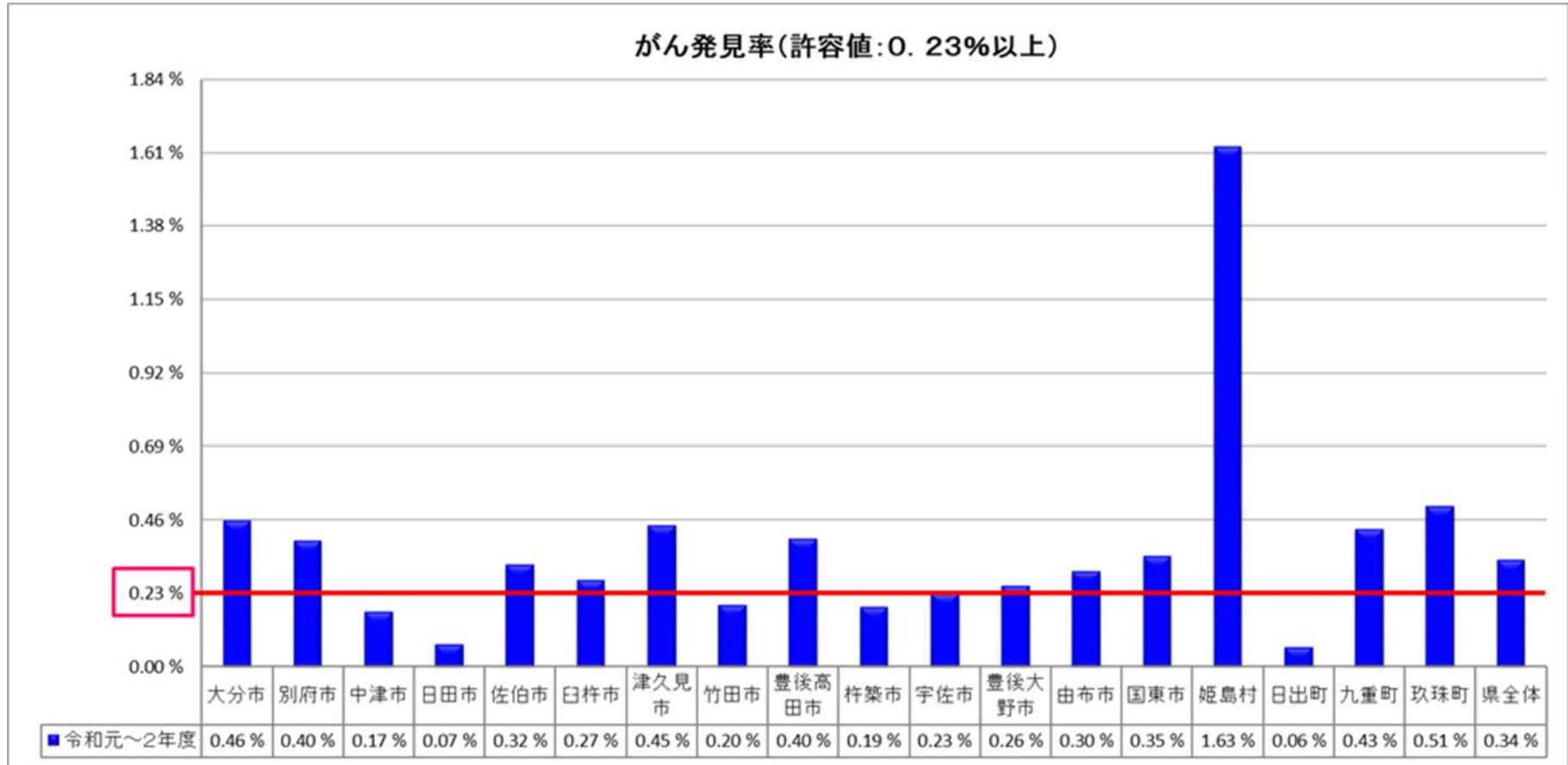
許容値である80%を17市町村で達成している。そのうち、13市町村で目標値である90%を達成している。
 県全体でも90%の目標値を達成している。



① -4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

13市町村が許容値である0.23%以上となっている。県全体で0.34%と許容値以上となっている。



① -5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、令和元年度及び令和2年度の平均による数値で示している。

15市町村が許容値である2.5%以上となっている。県全体で4.56%と許容値以上となっている。

